

平成17年

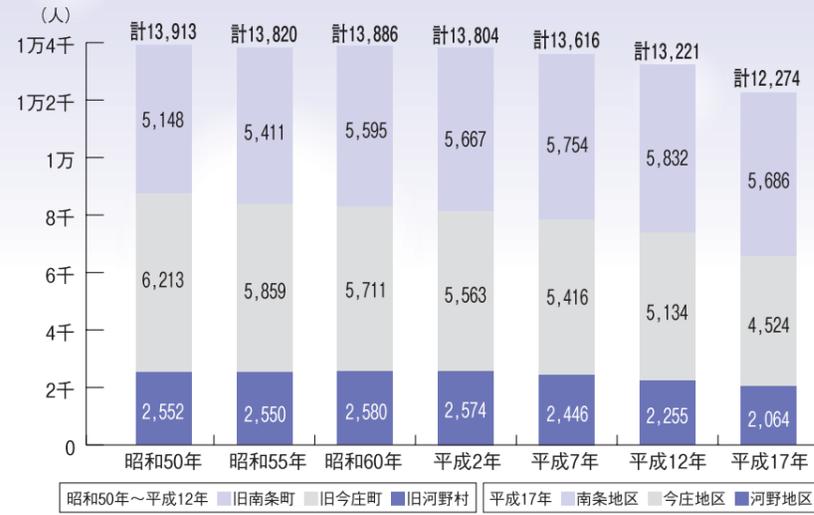
国勢調査

総人口 12,274人
平均年齢 47.1歳

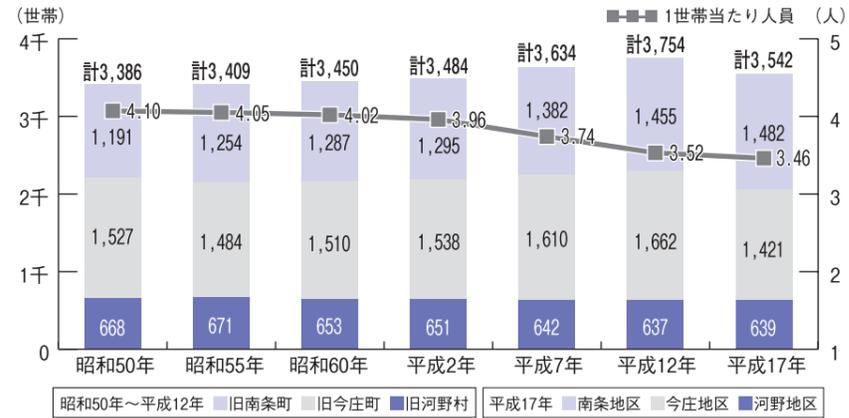
第1次基本集計の結果

平成17年10月1日現在で実施された、国勢調査の第1次基本集計が公表されました。第1次基本集計は、人口の男女、年齢、配偶関係別構成や世帯および住居に関すること、高齢者世帯等に関する結果です。人口、世帯の動きをグラフでご覧ください。

人口の推移



世帯数および1世帯あたり人員の推移



国勢調査の概要

国勢調査は、10月1日現在、日本に住んでいるすべての人を国籍に関係なく、普段住んでいる場所で世帯ごとに調査するもので、大正9年以来5年ごとに行われています。

南越前町の人口、世帯数は？

平成17年国勢調査による、10月1日現在の南越前町の総人口は、12,274人で、前回(平成12年調査)の旧3町村(平成12年調査)の旧3町村総人口、13,221人より9,477人、7.16%減少しています。

男女別では男性5,850人、女性6,424人と男性が574人少なくなっています。世帯数は3,542世帯で、前回(平成12年調査)の旧3町村総世帯数3,754世帯より212世帯減っています。1世帯当たりの人員は、3.46人です。

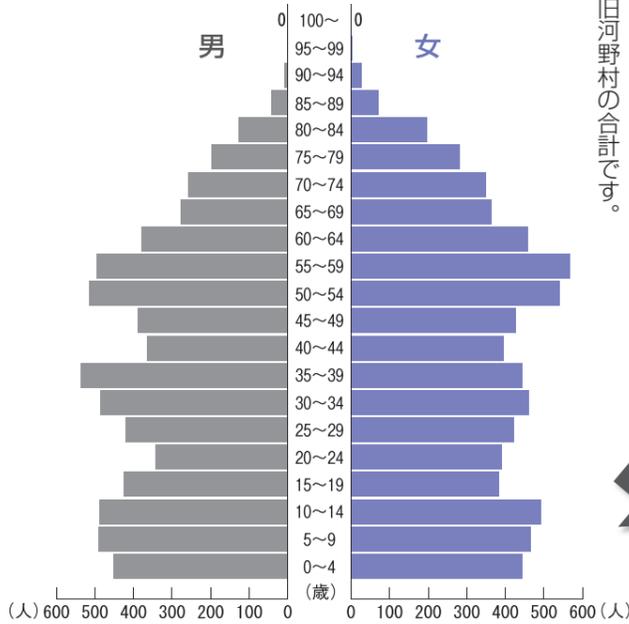
年齢別では？

南越前町の人口を年齢別に見ると、年少人口(15歳未満人口)は、1,754人、生産年齢人口(15歳以上65歳未満人口)は6,968人、老年人口(65歳以上人口)は3,552人となっています。20年前(昭和60年調査)と比較すると、総人口に占める老年人口の割合は上昇し、老年人口が年少人口を大きく上回り、高齢化が進行していることがわかります。

※昭和60年、平成7年の人口ピラミッドは旧南条町、旧今庄町、旧河野村の合計です。

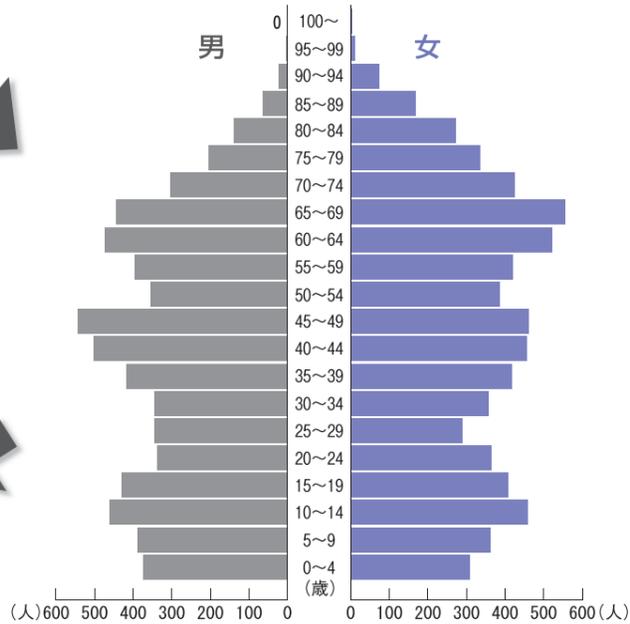
昭和60年人口ピラミッド

年少人口率 20.4%(15歳未満)
生産年齢人口率 63.7%(15歳以上65歳未満)
老年人口率 15.9%(65歳以上)



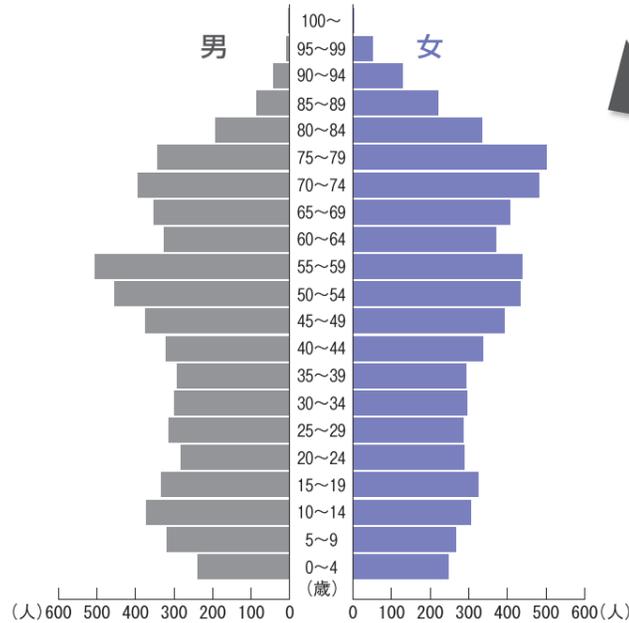
平成7年人口ピラミッド

年少人口率 17.3%(15歳未満)
生産年齢人口率 60.5%(15歳以上65歳未満)
老年人口率 22.2%(65歳以上)



平成17年人口ピラミッド

年少人口率 14.3%(15歳未満)
生産年齢人口率 56.8%(15歳以上65歳未満)
老年人口率 28.9%(65歳以上)



後期高齢者は15.6%

高齢者の中でも、65歳から74歳を前期高齢者、75歳以上を後期高齢者といえます。後期高齢者をみると、昭和60年調査では959人で総人口の6.9%と低い割合でしたが、平成17年調査では、1,916人・総人口の15.6%を占めています。

平成17年国勢調査第1次基本集計結果

わが国の概要

() は平成12年調査結果
日本の総人口 1億2,776万7,994人
(1億2,692万5,843人)
男性6,234万8,977人
(6,211万7,644人)
女性6,541万9,017人
(6,481万5,079人)

世帯数

4,956万6,305世帯
(4,706万2,743世帯)
内
●一般世帯数 4,906万2,530世帯
(4,678万2,383世帯)
●施設等の世帯数 10万2,999世帯
(10万1,628世帯)

※一般世帯とは「施設等の世帯」以外の世帯をいいます。「施設等の世帯」とは、学校の寮・寄宿舎の学生・生徒、病院・療養所などの入院者、社会施設の入所者などからなる世帯をいいます。

未婚率は20歳代後半から30歳代にかけて男女とも大きく上昇
15歳以上人口の配偶関係
有配偶率 男性60.8%(61.8%)
女性57.0%(58.2%)

老年人口の割合は

すべての都道府県で上昇
年少人口(15歳未満) 1,752万1,234人
(1,847万2,499人)
●生産年齢人口(15歳以上65歳未満) 8,409万2,414人
(8,621万9,631人)
●老年人口(65歳以上人口) 2,567万2,005人
(2,200万5,152人)

「二人暮らし高齢者」、高齢夫婦世帯が増加

65歳以上親族のいる一般世帯 1,720万4,473世帯
(1,500万4,608世帯)
●一人暮らし高齢者 386万4,778世帯
(3,003万2,140世帯)
●高齢夫婦世帯 448万7,042世帯
(3,666万1,271世帯)

わが国に存在する外国人

155万5,505人
(131万5,451人)
◎国籍別にみると、韓国、朝鮮が46万6,637人と最も多く、次いで中国、ブラジル、フィリピンとなっています。